

1	会議名	令和6年 第15回教育委員会会議 会議録	
2	開催日時	令和6年12月19日（木）午前10時00分～午前10時45分	
3	開催場所	5階 51・52会議室	
4	出席委員	教育長 守山 敏晴 委 員 村尾 利勝、渡邊 博明、岡田 淳子、岡崎 陽子	
5	欠席委員	なし	
6	会議出席者	教育次長 ： 丸川 浩 教育政策課長 ： 村重 武志 教育政策課 英語教育推進室長 ： 藤本 佐祐里 学校教育課長 ： 五郎丸 哲也 学校教育課主幹 ： 田村 幸恵 青少年課長 教育センター所長兼務 ： 植田 明男 生涯学習課長 中央公民館長兼務 ： 岡田 司 中央図書館長 ： 山本 圭子 科学センター館長 ： 大黒屋 誠 由宇支所長 ： 山本 英裕 周東支所長 ： 加藤 勝巳 錦支所長 ： 常国 良徳 美和支所次長 ： 藤中 峰雄	
7	会議従事職員	教育政策課 ： 松本 哲也、村上 葵	
8	会議録署名委員	渡邊 博明、岡崎 陽子	
9	議事日程		
	日程第1	会議録署名委員の指名について	
	日程第2	報告第14号	所管事項について
	日程第3	議案第28号	岩国市学校教育法施行細則の一部を改正する規則について
会議の概要	教育長	・ただいまから、令和6年第15回岩国市教育委員会会議を開会します。 ・それでは、日程第1会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員は、渡邊委員と岡崎委員にお願いします。 ・本日の議題は、お手元に配布した資料のとおりとなります。 ・それでは、日程第2「報告第14号 所管事項について」を議題といたします。これにつきましては、協議会形式で進めたいと思います。各担当部署から先に配布しております行事予定表について、補足又は所管事項に関する懸案事項があれば説明をお願いします。	
	由宇支所長	・今月13日に、由宇小学校と由宇中学校に宇宙航空研究開発機構（JAXA）から講師をお招きし、ロケットの仕組みや人工衛星の活用等についての講演会を行いました。分かりやすく説明していただき、大変好評でした。	
	周東支所長	・11月は、各公民館単位で文化祭を開催し、生涯学習の発表を通して地域の交流の場となりました。17日には「玖珂まち生涯学習文化展」を玖珂の鞍掛城まつりに併せて開催し、集客率を高めております。	

錦支所長	・ 錦町では、毎年 11 月に生涯学習作品展を開催しています。今年は 11 月 23 日～25 日までの 3 日間で、開催日数は短かったのですが、来場者数は昨年度とほぼ同数の方に来ていただきました。最終日には、錦清流小学校の児童も先生の引率の下、見に来ていただきました。
美和支所長	・ 11 月 17 日に美和駅伝競走大会が開催されました。本大会は 61 回目を迎える伝統ある大会で、当日は 5 区間を 27 チームで競い合いました。天候にも恵まれ、駅伝参加者に沿道から声援が送られていました。
学校教育課長	・ 前回お配りした資料に、12 月 27 日を学校閉庁とすると記載しておりましたが、正しくは 26 日木曜日と 27 日金曜日の 2 日間が学校閉庁となりますので訂正させていただきます。年明けは 1 月 6 日からになります。 ・ 2 点報告いたします。1 点目、インフルエンザの罹患状況ですが、県からインフルエンザの注意報が出て、前週の 2 倍程度の増加という報道が出ています。12 月 18 日現在、市内においては、麻里布、中洋、高森、東、平田の 5 つの小学校で学年閉鎖が 2、学級閉鎖が 5、合計 79 人が欠席している状況です。 ・ もう 1 点、北九州市の中学生殺傷事件についてですが、本市を含む県内他市町の教育委員会において、犯人とかたる人物からメールがありました。メールによると、当人は現在県内におり、12 月 23 日までに登下校時刻を狙って、小・中学生に危害を加えるというものでした。各小・中学校には、児童生徒に対し注意喚起を行い、可能な限り複数人で登下校し、寄り道をしないこと。不審者を見た場合にはすぐに大人に助けを求めること。教職員はできる範囲で登下校の見守りをするのと保護者への連絡。保護者に対しては、各家庭の状況に応じて自動車での送迎や付き添いの登下校、安全確保のために欠席をさせる場合は欠席扱いとしないことなどを伝え、各学校と幼稚園、保育園、放課後児童教室にも連絡が行き届いていると思います。全体としては、午前 10 時を目途に、県から安全対策について情報が下りてくるころですが、それを待たず、子供の命を第一に考えてこのような対応で進めておりますので御報告します。
青少年課長	・ 闇バイトに関するお知らせを御覧ください。先日発生した光市の闇バイトによる強盗未遂事件で、捕まった犯人の中に中学生が含まれていたことは御承知のことと思います。これに関連し、本市におきましても岩国警察署と連携し、学校から各家庭へチラシを配布して啓発活動を行い、危険性について授業でも取組を進めているところです。現在、岩国警察署と連携して、小学校 12 校、中学校 9 校で、闇バイトに関する危険性を指導しています。来週終業式を迎えますが、各学校において、終業式に冬休みの過ごし方や SNS との関わり方について注意喚起をするよう指導しています。
教育長	・ 東中学校美術部の生徒がロマンス詐欺に関する注意喚起のポスターを

生涯学習課長	作成し配布したところ、岩国警察署から表彰されたと聞いています。新聞にも載っていました。 ・ 1 月 12 日に開催する「二十歳のつどい」についてお伝えさせていただきます。現在、開催に向けて準備を進めておりますが、今年度、新たな取組として、式典における入場時の受付が円滑に進むよう、また、式典の運営に関わる業務の効率化を図るため、「二十歳のつどい」の対象者が、式典の出席申込みから当日の入場受付までをスマートフォン一つで完結させる方法を導入することとしています。 ・ 流れとしましては、まず、出席を希望される対象者に、市内・市外在住に関わらず全員に事前登録をしてもらいます。各自のスマートフォンで市のホームページからQRコードを読み込み、来場者登録を行うと受付アプリが起動します。式典当日はそのスマートフォンを持参してもらい、受付アプリからカメラを立ち上げ、会場に掲示されている入場受付QRコードを読み込めば、スマートフォン画面に「受付完了」と表示され、その受付完了画面を受付で提示し入場していただきます。出席者のほとんどはスマートフォンを所持していると思われるので、この方法を導入することで、スマートフォンがあれば来場者登録から入場受付まですることができ、案内状の紛失や持参忘れ等の心配もなくなり、出席者の利便性の向上につながると考えます。 ・ 式典の運営に関しては、市外在住者に対する電話等での受付の申込み後の案内状発送作業も不要になり、当日案内状を持参していない者への再交付手続きも不要になります。また、当日報道に公表する出席人数の把握が受付完了時点でデータ集計でき、受付で回収した案内状の枚数確認が不要になるなど運営の効率化が期待できます。 ・ なお、今回の取組は、山口県が取り組んでいる「シビックテック チャレンジ YAMAGUCHI」という事業になります。この事業は、企業と行政・県民が協働してデジタル技術により行政課題等を解決するための取組になりますが、今年度、岩国市が提案した『「二十歳のつどい」の参加申込みから入場までスマホでスマートに！』という課題に取り組むことが決定され、応募した企業6社のうち、株式会社WEB-WINGと協働して実証することになったものです。本取組の実証結果を基に、出席者の利便性や運営の効率化等を検証し、改善点等があれば来年度以降の開催に活かしていきたいと考えています。
中央図書館長	・ 11 月 16 日に、中央図書館において「自動車図書館新車両お披露目式」を執り行いました。当日は寄附者のほか、関係者にも御出席いただきました。新車両は、11 月 22 日から灘海園と、26 日から東供用会館へ、それぞれ2週間に1回試験運行するほか、予約本のみのお届けなど出動しております。現在、アンケート調査をするなどしてルートの見直しを行っており、来年度から本格運行する予定です。

科学センター館長	・「こどもと本を結ぶステップアップ講座」について御説明します。これは、こどもの読書に関わる活動をされている方、ボランティア、保育士、幼稚園教諭、学校教諭、学校司書等を対象に、保育園や幼稚園、小学校等で紙芝居を演じる際に必要な紙芝居の選び方や演じ方等の基本について、実習を交えて学ぶものです。講師には元山口市立小郡図書館長の長谷川雅美さんをお招きし、御指導いただきます。 ・11月10日に開催しました「青少年のための科学の祭典」について、今年度は、祭典に合わせてサイエンスショーを開催したこともあり、昨年度の倍以上となる825の方が来場されました。岩国工業高校や川下中学校科学部、科学工作クラブなど11の団体にブース出展に協力してもらい、中華麺を油で揚げたカップラーメンを作ったり、磁石と鉄球でガウス加速器を作ったり、星座のバッジを作ったりと、それぞれ科学を楽しく学びながら工作などをしていただきました。今年度は、サイエンスショーの観客が一斉にブースに移動するなどしたこともあり、少し混雑し、ブースによっては予想以上の人気で材料が午前中になくなくなったこともあったため、来年度は、今年状況を踏まえまして、整理券の配布などにより、来場者がよりスムーズに多くのブースを体験してもらえるように改善したいと考えています。
教育政策課長	・11月3日のえびす祭り「神輿担ぎ」について、こちらは新たに企画したイベントになります。今年7月に東地区で開催された土曜夜市に、基地ボランティアが参加したことをきっかけに、今回は祭りを主催する地域側から参加のお誘いがあり、基地のボランティアスタッフ16人とPLATABCのスタッフ、英語教育推進室の職員の計21人が参加し、基地のボランティアスタッフが神輿の担ぎ役を担当しました。えびす祭りに基地ボランティアが参加するのは今回が初めてで、地域の方から法被を借りて、事前に神輿の担ぎ方を教わるなど、地域の方から大変温かく迎えていただきました。祭りの直前には、PLATABCの職員から掛け声「ワッショイ」の語源について説明を受け、掛け声の練習をしました。本番では勇壮に神輿を担ぎ、観客から拍手が寄せられていました。基地と地域の交流については、7月の土曜夜市をはじめ、9月のハロウィンイベントなど、昨年からPLATABCがつなぎ役となって地域交流が盛んになってきています。地域とつながりたい基地側の思いと、地元を盛り上げたい地域の思いをつなげることで良好な関係を維持し、さらに「英語があふれるまち いわくに」の実現に向けて、このつながりを市全体に広げられるようにと考えています。 ・また、来年の3月15日と16日には、PLATABCのアニバーサリーイベントが予定されています。詳細はまたお知らせいたします。 ・全体を通しまして、御意見・御質問がございましたらお願いします。 ・学校教育課にお尋ねします。神戸市は、中学生の部活動が来年度に完全
教育長 村尾委員	

学校教育課長	廃止と報道がありました。岩国市は、文化スポーツ課を中心に地域移行について協議中ということで、順調に受け皿づくりがされていると思います。新入生の中には、部活の地域移行に参加しない生徒がかなりいると思います。今までは9割以上の生徒がどこかの部活に入っていたと思いますが、地域移行に参加しない生徒がどれくらいになると推察していますか。
村尾委員	・目算ですが、今年度の部活の入部状況を見ると全体の約6割で、残りの4割は別にお金を払ってクラブチームに入っているような感じがしています。現3年生の加入率はかなり高いですが、新1・2年生の状況を考えると6割から7割くらいかと思います。
学校教育課長	・完全移行した場合に、今の状況で言えば5割以上が地域移行に伴い、どこの団体にも所属しない状況になると思います。その生徒たちの居場所づくりが問題です。今までは、部活動をしながら学校生活を充実させ、人間形成を図ってきたわけです。それが、授業が終わるとすぐ帰宅する。特に春、夏、冬休みの期間中は自由な時間が増えます。目的意識を持っていれば良いが、モチベーションが下がったままの状態ですら過ごすと難しい面も出てくると思います。
村尾委員	・おっしゃるとおり、長年続けてきた部活動文化があります。その良さを残しながら、移行の受け皿——いわゆる教育的要素を持った地域クラブを本市は目指していますので、そこを共有しながら今、じわりじわり進んでいると思っています。来年度の目標は17時下校にしていますが、例えば、長期休業を前倒しする形で5時間授業の日を確保しながら、何とか勤務時間の中での部活動を継続したり、長期休暇期間中であっても一っとするのではなく、学校へ行き、決められたガイドラインに沿って行う部活動も、教育課程を工夫して、時間的な確保もしながら新たな教育的要素を持った受け皿となるよう協会と対話を重ねています。特に剣道、ソフトボール、ハンドボールなど、単一校で団体戦が組めない所が試行の受け皿に上がっているので、学校から離れたところで勝つためにやるぞというのではなく、生徒の成長を促すことを目標にしながら整理する。また、教育政策課の行事予定にある1月25日の「イングリッシュクラブ」は、中学生向けの講座と聞いています。新たな学びの場といますか、本市の持つ教育資源を活用しながら整備することで、子供たちにとって空白な時間がないように、夕方には完全燃焼といいますか、お腹を空かせて家に帰ってご飯を食べてしっかり寝るというようなつながりが、学校の教育目標と連動しながらいければいいのかなと思います。 ・地域移行にはまだ時間的な余裕がありますから、居場所づくりや子供たちのモチベーションアップ、各学校と教育委員会が議論し、タグを組んで、団体に所属しない子供たちをしっかりと導いていってください。

渡邊委員	・SNSや闇バイト等について、学校でも取り上げて指導していただいていると思いますが、緊急時の連絡体制——これは学校から家庭へのものだと思いますが、今年の1月には能登半島の地震もありました。長期休業中にそういったことが起こるかもしれないので、震災時の危機管理や緊急連絡網についても今一度確認していただきたいです。先ほど青少年課のチラシがありましたが、ここに電話番号があると良いと思います。子供たちは先生には相談しにくいことを抱えているかもしれませんので、連絡先の一覧表を掲載していただければと思います。
学校教育課長	・速報ですが、北九州中学生殺傷事件の犯人が捕まったとの情報が入りました。県の指示を待たず、市から情報を出しましたが、校長の中にまだ読んでいない者もありました。緊急情報が確実に各校長に届くようにするには、手作業も必要でデジタルと組み合わせてやっていきたいと思います。相談窓口の情報も学校へ出しているので、広く子供や保護者にも確実に届けられるようにと思っています。
渡邊委員	・生涯学習課にお尋ねします。「二十歳のつどい」についてですが、これは企業と連携されるということですが、スマートフォンを持たない人のことは想定しておられますか。
生涯学習課長	・スマートフォンを持っていない人は当日受付で申込書を記入の上、入場していただくようになります。
渡邊委員	・今回は事前の案内はがきを出していないということですか。
生涯学習課長	・事前登録をしてくださいという案内は、市内に住民票がある方には郵送しています。今まではそのはがきを持参していただいていたのですが、事前に登録していただいて、スマートフォンだけを持ってくるようになります。
岡崎委員	・地域移行の話を保護者として聞いたときに、今までずっとネガティブなイメージというか、学校から突き放されるような気持ちになっていました。私たちの時代は、学校は子供たちにとっての社会として成り立っていて、それがなくなるようで不安だったのですが、いろいろ勉強させていただく中で、地域の方と連携して、地域の方が子供たちを見てくれるんだなと実感するたびに、子供たちの社会が広がるのかなとポジティブな気持ちになって、ガラッと変わっていくんだなと感じています。ただ、ほかの保護者の方は、そういうビジョンが持てるほどの情報がない気がします。そういった意味で横のつながりというか、コミスクという言葉も知らない保護者も多いと思いますし、地域と学校と保護者と教育委員会とで一緒に考えていけないかと考えています。保護者がもっと前向きになれるというか、子供を思う気持ちはみんな同じなのに対立するような形になるのはなぜなのだろうと思っています。
学校教育課長	・8月に部活動の協議会を行った際に、委員から、学校と生徒たちのつながり——温かみのある関係性を残しながら、新しい枠組みができるとい

教育長	いですね、という言葉がありました。先般、校長面談を実施しましたが、川下中学校では、短い時間ではありますが、入学説明会のときに部活動体験を入れて、中学校ではこんなプログラムがありますよというのを見える化されてました。イングリッシュクラブのような新たな枠組みも、1枚ものにまとめたりしてイメージできるような共有の仕方が進められたらいいなと思っています。 ・私と地域コーディネーターで、たくさんの連盟と地域移行についての話し合いを重ねていますが、教員の働き方改革のために自分たちがなぜ、というような御意見が投げかけられることもあります。そうではなく、子供のためにという部分がなかなか伝わらないこともあり、子供のモチベーション、意欲、成長をゴールにして、協議を重ねて努力していきたいと思っています。 ・今、文部科学省では、「地域移行」という言葉が部活動を地域に託すものと捉えられているため、「地域展開」に変えていくということでした。空手で2年連続日本一になった小学生や、ブラジリアン柔術の世界一になったチーム、書道で日本一になった小学生など、部活動の枠にはまらない活躍をしている方が本市にもたくさんいます。そういった方々が、これまでは部活に入らなければいけなかったが、入らないで得意なことを伸ばしていけるというような形で広めていかなければいけないと感じています。
岡田委員 青少年課長	・闇バイトに関する警察との連携ですが、講話なども行われていますか。 ・はい。小学校30校のうち12校、中学校は14校のうち9校で既に実施しています。補足ですが、高校の生徒指導の会議に参加したところ、高校の先生方の危機感が強いと感じました。高校生はアルバイトをする子もあり、県立においては全校集会がありますので講話に来ていただけないかというような依頼もありました。学年が上がるにつれて危機感を強くもたれている印象です。
岡田委員	・警察官の話を聞くことはすごく良いと思います。光市の事件があつてすぐ、警察の方から学校へ話をしに行きたいと連絡をいただきました。若い方が来られましたが、しっかり原稿を立てて説得力のある話をしていただき、現職の警察官ということで真実味が増してとても良かったです。 ・図書館の取組ですが、幼児期から老齢期まで夢のある学びが広がって、とても素敵だと思います。 ・部活動の移行については2～3年で落ち着いてくるとは思いますが、学校教育の中で、県の会議でいつもお話ししているのですが、長年、部活動で培ってきた、ある一定の礼儀正しさや集団で何かを作り上げる喜びなどを教育課程の中で考えなければならないと思っています。そのためには、特別活動とか総合的な学習、探求時間などを使って、今まで部活で

教育長	培ってきたことや恩恵を受けてきた部分を、決められた時間の中でどのように教育課程に落とし込んでいくか。そういう研究を各学校に促していただければと思います。小学校の特活を取り上げた映画が海外でも評価されていると見聞きします。日本の義務教育の良さの中で、学校に勢いを作り出す部分を、校長先生をはじめ、教員が考えていかなければいけないと思います。よろしくお願いします。 ・ 別にないようでしたら、以上で報告第 15 号を終わります。 ・ 次に日程第 3「議案第 28 号 岩国市学校教育法施行細則の一部を改正する規則について」を議題にします。 ・ 学校教育課から説明をお願いします。
学校教育課主幹	・ 本細則の様式第 1 号、これは卒業証書の様式になります。例年、卒業証書と卒業証書授与台帳の関連を証明するため、2 つの紙面に割印を押印していましたが、今年度から卒業証書授与台帳を電子化することに伴い、様式から「割印」を削除するものです。なお、施行期日につきましては、令和 7 年 1 月 1 日からとし、令和 6 年度卒業生分から適用としております。
教育長	・ ただいまの説明に、御質問、御意見がございましたらお願いします。 ・ 別にないようでしたら議案第 28 号は原案のとおり決することに御異議ありませんか
各委員	・ 異議なし
教育長	・ 御異議なしと認め、議案第 28 号は原案のとおり決します。 ・ 本日の議題は以上でございます。次回の教育委員会会議の日程について、事務局から説明をお願いします。
教育政策課長	・ 次回定例会は、令和 7 年 1 月 28 日火曜日、本庁 2 階特別会議室において、14 時から所属長会議を、14 時 30 分から教育委員会会議を開催いたします。
教育長	・ 以上をもちまして、令和 6 年第 15 回岩国市教育委員会会議を終了いたします。

岩国市教育委員会会議規則第 16 条の規定により署名する。

教育長 守山 敏晴

教育委員 渡邊 博明

教育委員 岡崎 陽子